

21 旅館・ホテル・宿泊所

【関連章第7章4】

事例1 「装飾した風船を片付けるためにライターを使用して出火した火災」

出火時分 8月 10時ごろ
用途等 ホテル 耐火造 34/4 延 63,000 m²
防火管理 該当選任あり 消防計画あり
被害状況 建物ぼや1棟 内壁、天井各若干等焼損
概要

この火災は、ホテル27階の宿泊室内から出火したものです。

出火原因は、宿泊客が宿泊室内に飾りつけたバルーンを片付ける際にライターを使用したため、バルーンに着火し出火したものです。

宿泊客は、ライターの火でバルーンに穴を開けていたところ、バルーンが燃えだし、炎が立ち上がるのを発見しています。バルーンが燃えだしたことに気付いた宿泊客は、洗面台にあったコップで水をかけるとともに、濡らしたタオルで初期消火を実施しました。

防災センターに勤務する警備員は、宿泊室での自動火災報知設備の信号を確認したため、フロントに連絡し、ホテルの従業員が宿泊室を確認すると、室内には薄い煙と燃えた跡を発見したため、防災センターに報告し防災センターから119番通報を実施しています。

教訓等

この火災は、宿泊客が持ち込んだものに起因して出火しています。

ホテル側が適切な管理を実施していても、さまざまな要因による火災の危険は潜んでいます。

火災に至る要因を事前に無くすことや、万が一火災になってしまった場合に早期発見できる体制を整え、迅速な通報及び初期消火方法を確認しておくことが被害の拡大防止につながります。出火防止について注意喚起をすることやホテル内のルールについて周知することも大切です。火災が発生した際には、速やかに119番通報を行い、適切に初期消火及び避難誘導を実施することにより被害の拡大防止を図ることができます。

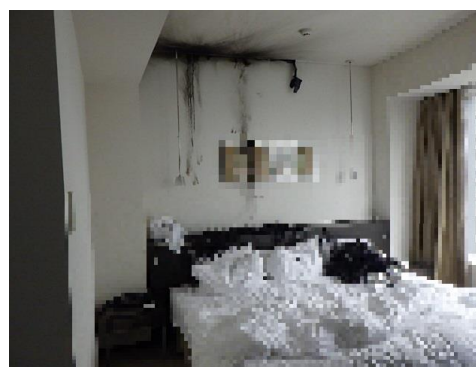


写真 21-1 焼損した宿泊室の状況



写真 21-2 出火時の再現状況